

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年4月19日

【評価実施概要】

事業所番号	1173800432
法人名	株式会社メデカジャパン
事業所名	加須グループホームそよ風
所在地	〒347-0046 埼玉県加須市大字平永939-4 (電話) 0480-63-2271

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年4月14日

【情報提供票より】(20年3月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年2月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤	11人, 非常勤 1人, 常勤換算 11.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	2階建ての	1階	~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	65,000 円	その他の経費(月額)	30,000円+実費
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (300,000円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり1,200円			

(4) 利用者の概要(3月20日現在)

利用者人数	17 名	男性	6 名	女性	11 名
要介護1	9 名	要介護2	6 名		
要介護3	0 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.9 歳	最低	71 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	福島医院、フラワー歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、落ち着いた雰囲気のある2ユニットのグループホームで、利用者も笑顔で明るく感じられる。このホーム独自の理念も明確で、「緑」の風景や「臭い」への配慮、利用者や家族へ「安心」のための対応等について具体的な行動がとられている。利用者の方の笑顔にも、介護者や職員の声かけや、さりげなくお話するなど、常に視線を一緒にする姿勢の現れのようにも伺える。また、買い物や畑の見回りなど、室内に閉じこもることのないよう戸外に出る活動も多くみられる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>防災訓練や事故やヒヤリハットの再発防止策についての課題は話し合いが行われ、防災訓練では夜間の職員の通報招集訓練が行われている。課題解決については、月1回行われる全体会議とユニット毎の会議、毎日の引継ぎの中で話し合われている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価が行われ課題も明確にしているが、具体的な改善に向けての話し合いなどの取り組みはまだ行われていない。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>市の担当者、民生委員、地域や家族の代表者が参加して定期的に開催されている。主に利用者サービスに関する話し合いが行われており、サービスの充実につなげている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族会が昨年の11月に発足し、定期的に(年4回)開催されている。家族会で話し合いが行われ、意見や要望等についてはユニット毎の会議や全体会で話し合われ検討されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入するなどホームから地域への働きかけが行われ、敬老会への参加や地域の方の訪問もみられる。また、小学校や幼稚園との交流をすすめる検討も行われており、地域との連携に努めている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	会社としての理念、事業所としての理念、それぞれが明確に文書化されている。また、具体的な実践指針を管理者が示している。さらに地域に密着したホームとなるための方向も検討されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月に1度、定期的な全体会で職員全員で唱和が行われ、理念に基づいて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元の自治会や地域の行事(敬老会など)へ参加し、民生委員や地域の方の訪問などもあり、交流に努めている。また、今後地元の小学校や幼稚園との交流を行うための事前訪問や打ち合わせが行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年も外部評価を受けている。示された改善点などは月1度開催しているユニット毎の会議で話し合いを行っている。具体的に検討した内容や、その効果や結果の資料・記録はみられなかった。		示された改善点や日々の話し合いからの意見や工夫を改善に結びつけるためにも、計画や段取りを職員全員が理解できるようにプロセスとして明確にすることを期待したい。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開催回数はまだ少ないが、2か月に1度は開催され、市の担当者、民生委員会長、家族の代表の方など交えて会議が行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	機会ある毎に市の担当者とは生活保護のことや身体障害者手帳の交付、障害者サービスなどの話し合いや情報交換が行われ、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	「そよ風」たよりをホームで作成して、写真や請求書に同封して毎月家族に送付している。また面会時には、ホームで預かっている利用者の金銭管理の状況の確認が行われている。		金銭管理に関しては、面会時のみに家族等へ伝えるのではなく、毎月お知らせするなど定期的に報告しさらに明確しておくことが望まれる。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	昨年の11月に家族会が発足し、今年の1月と4月にも話し合いが行われている。年4回ほどの開催が予定されている。ホームでの生活の説明等が行われ、家族からの意見や希望に対しても検討されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や退職の際は、顔馴染みづくりのために居室担当者を決めたり、利用者との送別会を企画するなどの配慮がされ、家族にはホーム便りで家族へ周知している。また、管理者が職員とのコミュニケーションも大切に、ストレスや離職につながらないよう未然の予防を心がけている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新任社員研修(年2回)、中間職研修等、段階に応じた学びの機会を設けており、昨年度は音楽療法研修が行われている。研修後は記録を作成して報告されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のケアマネジャー会議へ計画作成担当者が参加している。また会社組織内にある他の事業所(デイサービス、ショートステイ、グループホーム)と管理者の交流、また職員の異動に伴う交流が行われている。		会社組織が異なる同業者との交流や県内のグループホームの団体への加入などをすることで、問題や課題に対する共通認識をもち、さらなる質の向上につながることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用開始に当たっては必ず見学の機会を設けて説明が行われている。また、試しの期間も設けられてはいるがまだ利用されてはいない。見学等は土曜日や日曜日でも受け入れている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員一人ひとりが利用者と共に接しており、利用者の明るい笑顔が印象的である。会話を常に心掛けており、食器洗いや調理、掃除に洗濯、洗濯干しと洗濯たたみなど、利用者の状態を見ながら声かけをして一緒にやっている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者と一緒に行動することで、一人ひとりの思いなどを把握しアセスメントにもつなげている。毎日の3食、お茶やおやつ時間も職員と一緒に食事する等、利用者とともに過ごす時間をとっている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者の担当者が日々の生活の中でアセスメントを行い、計画作成担当者やアセスメント表を作成している。計画作成者が介護計画を作成しており、月に1回は話し合いが行われ、職員全員で情報を共有している。家族にも説明して確認や承諾をいただいている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>見直しは定期的には3か月後、6か月後の期間で行われている。また、入院時や心身の状態に変化がある場合はその都度対応あるいはユニット毎に行われる会議で話し合われている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	将来的には、空き部屋を有効活用する為にもショートステイなどの構想もある。また、会社内の別の事業所の看護師に医療の相談をするなど支援も行われている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科・循環器科の医院、歯科医院とが協力医療機関となっており、往診もある。かかりつけ医は入居前から継続している利用者もいるが、通院は家族が行っている。その場合の心身の状況等は場合により書面で家族に伝え、受けた報告も記録している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	開設以来10名ほどの利用者が特養や病院へ移られ、今後家族やホームの希望としても重度化や終末期の対応があり、実現に向けての話し合いが行われている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日常生活でのプライバシーへの配慮が、入室時の挨拶やノック、面会簿の扱い、書類の保管などからみられる。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに応じ会話が多くもたれ、話す時間を多くもつよう職員も心掛けている。趣味や生活していた場所の話などから利用者の希望等を伺うよう努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳や一部の調理も職員と利用者が一緒に行い、朝・昼・夕の3食とも職員と一緒にテーブルを囲み食事を摂っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴回数はほぼ1日おき、車椅子の方も週3回は入浴が行われている。入浴時間は午後に行われている。寝る前の入浴の希望もあるが現在是对応が難しく足浴や湯たんぼの利用、蒸しタオルをビニール袋に入れ、お腹を温めるなどの対処を行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常の活動(調理、掃除、洗濯)の他に趣味としても裁縫や塗り絵、貼り絵等の作品づくりが行われ、役割や楽しみごとになるような支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くに畑があり、そこでの作物作りや畑の見回り、天候の良い時の散歩、また買い物やドライブでは月に1度は必ず外出できるように支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関前を国道が走っているため、安全面に配慮し、玄関は自動ロックとなっている。入居間近でホームの生活にまだ慣れず行動が不安定な利用者には毎日2回の散歩に付き添っている。また家族にも鍵の使用を入居時に説明している。職員とも鍵をかけないケアの大切さを説明している。		現在の状況が当然との認識を持たないためにも定期的にまた計画的に話し合いを持たれることを望みたい。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	18年度には救急法の訓練にも職員が参加し、昨年は夜間の職員の通報と招集の訓練が行われている。地域の避難場所の理解もあり、また非常食としての水や食料が計画的に備蓄されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	普段の食事は栄養士が管理して、それに基づいてホームで食材を購入し調理している。月に1回は外食に出かける他、利用者から芋がらの料理のアドバイスを受け献立に加えられたこともある。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下やリビング・食堂は木目調の壁や家具が使われ、また植栽も置かれて柔らかな雰囲気を感じられる。食事のテーブルや椅子は統一した物が使用されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各自がベットまたはカーベットに布団を敷き、家族の写真や鏡台、椅子、テレビなどが居室に置かれている。家族が居室の飾りつけをしており、利用者が心地良く暮らせる雰囲気作りをしている。		